

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年6月28日 (2012.6.28)

【公表番号】特表2011-523637(P2011-523637A)

【公表日】平成23年8月18日 (2011.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2011-033

【出願番号】特願2011-508938(P2011-508938)

【国際特許分類】

A 6 1 K 49/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 49/00 A

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

A 6 1 B 5/05 3 8 3

A 6 1 K 49/02 A

A 6 1 K 49/02 C

A 6 1 K 49/00 C

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 25/24

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月10日 (2012.5.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験体が晩発性うつ病を有するか又は晩発性うつ病への素因があるか否かを判定するのに使用するためのインビボイメージング方法であって、

(i) 前記被験体にインビボイメージング剤を投与する段階であって、前記インビボイメージング剤がポリヌクレオチド又はポリペプチドと選択的に会合する化合物を含み、前記ポリヌクレオチド又はポリペプチドが G A B A 作動性受容体遺伝子によってエンコードされ、前記化合物がインビボイメージング成分で標識されている段階、

(i i) 前記インビボイメージング剤を前記被験体の脳組織中で発現される前記ポリヌクレオチド及び／又はポリペプチドと選択的に会合させる段階、

(i i i) 前記インビボイメージング成分によって放出される信号をインビボイメージング方法によって検出する段階、並びに

(i v) 前記信号の位置及び／又は量を表す画像を生成する段階を含んでなる方法。

【請求項 2】

前記被験体がインタクトな哺乳動物生体である、請求項 1 記載のインビボイメージング方法。

【請求項 3】

前記脳組織が前帯状回にあり、前記 GABA 作動性受容体遺伝子が、GABA_A受容体サブユニット γ_1 (GABRG1)、GABA_A受容体サブユニット ρ_1 (GABRR1) 又は GABA_B受容体 2 (GABBR2) をエンコードする遺伝子である、請求項 1 記載のインビボイメージング方法。

【請求項 4】

前記 GABA 作動性受容体遺伝子が、GABBR2 又は GABRR1 をエンコードする遺伝子である、請求項 3 記載のインビボイメージング方法。

【請求項 5】

前記脳組織が側坐核にあり、前記 GABA 作動性受容体遺伝子が、GABA_A受容体サブユニット α_4 (GABRA4)、GABA_A受容体サブユニット β_3 (GABRB3) 又は GABA_A受容体サブユニット γ_2 (GABRG2) をエンコードする遺伝子である、請求項 1 記載のインビボイメージング方法。

【請求項 6】

前記 GABA 作動性受容体遺伝子が、GABRB3 をエンコードする遺伝子である、請求項 5 記載のインビボイメージング方法。

【請求項 7】

前記インビボイメージング成分が以下のものから選択される、請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項記載のインビボイメージング方法。

(i) 放射性金属イオン、

(i i) γ 線放出型放射性ハロゲン、及び

(i i i) 陽電子放出型放射性非金属。

【請求項 8】

晩発性うつ病の診断方法であって、

(a) 請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項記載のインビボイメージング方法、及び

(b) 段階 (a) で生成された画像を、前記インビボイメージング方法をうつ病でない被験体で実施した場合における前記インビボイメージング剤の取込みパターンを表すインビボ画像と比較する段階
を含んでなる方法。